

山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名： 祖 母 山 (1,756m)		(大分県豊後大田市)
入山日：平成 31 年 3 月 13 日 (水) 日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		山頂の雪化粧
参 加 者	L：報：記： 鈴木	
	男 1 名、女 名、計 1 名	
天候： 晴れ時々曇り		
3月13日 (水)	8：20 尾平—8：30 第一吊橋—9：30 宮原—11：20 祖母山 11：30— 12：30 宮原—14：00 尾平下山 行動 5h40	
荒天候時のエスケープルート： 引き返す		
装 備 と 食 糧	共同装備：共 同 食：すべて無し レンタカーで移動	
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、傘、防寒具、コンパス、地図、ストック、グローブ、 軽アイゼン、テルモス (水)、ツェルト、帽子、携帯トイレ、 個人食： 昼食、行動食	
感 想	登山口の駐車場は無人だが500円徴収の張り紙があり料金箱に入れる。たぶん九州の山で最大の標高差 (約 1,150m) であるが 100m 毎にある標識を糧に順調に高度を上げていく。1 時間ほど登ると白いものがちらほら見え始め 5,6cm の積雪ではあるが以降雪道となる。痩せ尾根に続くナイフリッジが凍っており一瞬肝を冷やしたが、スパイクをつけることなく無事通過した。9 合目の小屋は無人でこじんまりしているが、清潔感があり一泊しご来光を仰ぐのも悪くはないなと感じた。山頂からの眺望は他の九州の山と趣きが違い、切り立った稜線が続く男性的な山容である。下山路は当初黒金山尾根を予定していたが、山頂直下の急斜面がテカテカに凍結しており安全確保のため来た道を下りた。	